

※ 部分は自動計算します

1 補助金申請額

再生可能エネルギー設備の種類	蓄電容量及び型式名	補助金申請額
車載型蓄電池 ※計算上の補助金額とCEV補助金「銘柄ごとの補助金交付額」のいずれか低い額	kWh	円
充放電設備		円

2 車載型蓄電池の想定年間消費電力量をまかなうことができる再エネ発電設備

1) 太陽光発電設備と接続する場合

$$\text{年間走行距離 (km/年)} \times \text{電費 (kWh/km)} \times \text{申請車両台数} \div \text{地域別補正係数 (岩手県: 1,137kWh/年/kW)}$$

年間走行距離(予定)	(A)	<input type="text"/>	km/年
電費(カタログ電費・WLTCモード)	(B)	<input type="text"/>	kWh/km
車両台数	(C)	<input type="text"/>	台
地域別補正係数		1,137	kWh/年/kW

[補足]

- (A) 過去1年間の車両走行実績や1年の平均走行距離などから算出し、記載してください。
- (B) カatalog電費がWLTCモード値でないものは、以下の方式でWLTCモード値見合いに換算してください。
 - ・JC08モード値の場合: JC08モード値 × 1.3
 - ・NEDCモード値の場合: NEDCモード値 × 1.3
 - ・EU-WLTPモード値の場合: 変換しない(カタログ値のまま)
 なお、単位が「kWh/km」のため、「km/kWh」表記のものは、下記例のように変換してください。
 【例】6.5km/kWhの場合、1kWh ÷ 6.5km = 0.154kWh/km
- (C) 導入する車両の台数を記入してください。

想定年間消費電力量をまかなうことができる
太陽光発電設備発電設備容量 kW

既存又は導入する太陽光発電設備容量 kW

想定年間消費電力量に対して設備容量が不足する場合は、その不足分を再エネ電力証書(グリーン電力証書及び再エネ由来Jクレジット又はいずれか一方)の購入又は再エネ電力メニューから調達できれば可とします。

不足分を補う方法(該当するものに「○」)	グリーン電力証書の購入	<input type="text"/>
	再エネ由来クレジットの購入	<input type="text"/>
	再エネ電力メニューからの調達	<input type="text"/>

2) 再エネ発電設備を設置できない場合

再エネ電力証書(グリーン電力証書及び再エネ由来Jクレジット又はいずれか一方)の購入又は再エネ電力メニューから調達してください。

方法(該当するものに「○」)	グリーン電力証書の購入	<input type="text"/>
	再エネ由来クレジットの購入	<input type="text"/>
	再エネ電力メニューからの調達	<input type="text"/>